

当日プログラム

緊急集会

「みんなの休眠預金をどうするのか！

指定活用団体決定前の今こそ語り合おう！」

—趣旨—

日本のソーシャルセクターに今後大きな影響を与えるであろう「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」が、2018年1月1日に全面施行されました。年内に一団体の指定活用団体が決定され、2019年に指定活用団体が複数の資金分配団体を選定した後、最終的には数百億円規模の資金が民間公益活動に活用されることになっています。

私たちは2017年に行われた「休眠預金等交付金に係る資金の活用に関する基本方針案」パブリックコメントで、地域社会を支えるNPOの視点から様々な指摘や提案を行いました。パブリックコメントは全国から168件の提出がありましたが、残念ながら基本方針は意見をまったく反映させることなく当初案のまま決定されています。

基本方針の内容は幅のあるもので、多くの部分を指定活用団体が決定することとなっています。それに対して、私たちは基本方針の複数の文章表現に指定活用団体をミスリードしかねない部分があると考えています。また休眠預金の資金は「実験的」に扱うには規模が大きすぎ、これまで地域社会や弱い立場の方を長く支えてきた日本各地のNPO等に、致命的な悪影響を及ぼす可能性すらあるのではないかと懸念しています。

そこで主にパブリックコメントを作成した有志で、その具体的な問題提起と議論を行うフォーラムを開催することとしました。もとは市民の資金からなる休眠預金をより良く活用するためには何が必要なのか、またどんなリスクがあるのか、たくさんの皆さまと課題を共有し考えたいと思います。

ネット中継中：facebook「緊急集会」「休眠預金」で検索

*日 時；2018年7月26日（木）18:30～21:00

*場 所；文京シビックセンター・スカイホール（26階）

東京都文京区春日 1-16-21

*地 図；<http://www.city.bunkyo.lg.jp/shisetsu/civiccenter/civic.html>

*主 催；現場視点で休眠預金を考える会 実行委員会

――当日プログラム――（時間、登壇者 変更の可能性あります）

18:30 主催者挨拶 早瀬 昇（日本 NPO センター理事/大阪ボランティア協会常務理事）

第 1 部 基本方針と指定活用団体公募要領から読み取る、休眠預金の可能性とリスク

登壇；奥田 裕之（（認定特定非営利活動法人）まちぼつと事務局長）

内容；パブリックコメントと回答、基本方針から見る危険性の説明 など

フロア質疑

第 2 部 休眠預金スタート後、日本のソーシャルセクターをより良く発展させるために

登壇；森山 誉恵さん（認定特定非営利活動法人 3keys 代表理事）

横田 能洋（認定特定非営利活動法人 茨城 NPO センター・コモンズ代表理事）

萩原 なつ子（認定特定非営利活動法人 日本 NPO センター代表理事、休眠預金活用審議会委員）

小河 光治さん（公益財団法人 あすのば代表理事、休眠預金活用審議会専門委員）

進行；実吉 威（認定特定非営利活動法人 市民活動センター神戸理事・事務局長）

フロア質疑

21:00 終了挨拶 大久保 朝江（杜の伝言板ゆるる 代表理事）

* 実行委員会は全国の NPO 支援組織 10 数団体と個人数名から構成されています。

実行委員会（組織名・北から、個人名）

特定非営利活動法人北海道 NPO サポートセンター

認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター

認定特定非営利活動法人新潟 NPO 協会

認定特定非営利活動法人茨城 NPO センター・コモンズ

特定非営利活動法人子ども NPO・子ども劇場全国センター

認定特定非営利活動法人日本 NPO センター

一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

社会福祉法人大阪ボランティア協会

認定特定非営利活動法人市民活動センター神戸

公益財団法人ふるさと島根定住財団

奥田裕之（認定特定非営利活動法人まちぼつと 事務局長）

加藤俊也（認定 NPO 法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク 理事）